

作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

所属	氏名	作成日
経営学部経営学科	石川 順章	2024年5月1日

【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

1.1. 前期

基礎ゼミナール 1i | 学部 | 学科 | クラス
プレインターンシップ | 学部 | 学科 | クラス
研究ゼミナール 1 | 学部 2 | 学科 | クラス
研究ゼミナール 3 | 学部 2 | 学科 | クラス
研究ゼミナール 5 | 学部 2 | 学科 | クラス
会計学総論 A | 学部 2 | 学科 | クラス
フィールドワーク A | 学部 2 | 学科 2 | クラス
マーケティング論 A | 学部 2 | 学科 | クラス
公益事業論 | 学部 | 学科 | クラス
マーケティング論特論 I | 研究科 | クラス
経営学特別演習 I | 研究科 | クラス
経営学特別演習 III | 研究科 | クラス

1.2. 後期

基礎ゼミナール 2i | 学部 | 学科 | クラス
社会基盤概論 2 | 学部 4 | 学科 | クラス
研究ゼミナール 2 | 学部 2 | 学科 | クラス
研究ゼミナール 4 | 学部 2 | 学科 | クラス
研究ゼミナール 6 | 学部 2 | 学科 | クラス
経営学総論 B | 学部 | 学科 | クラス (オムニバス形式で 5 回分を担当)
会計学総論 B | 学部 2 | 学科 | クラス
マーケティング論 B | 学部 | 学科 | クラス
観光マーケティング論 | 学部 | 学科 | クラス
マーケティング論特論 II | 研究科 | クラス
経営学特別演習 II | 研究科 | クラス
経営学特別演習 IV | 研究科 | クラス

その他、本学経営学部学生向け「大学院進学講座」(オムニバス形式で 5 回分)を担当している。

【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

私の教育の理念は、学生一人ひとりの可能性を信じ、また自主性と主体性を尊重し、それぞれの才能が開

花するよう支援することである。教育とは単に知識を伝える行為ではなく、学生が自ら考え、学び、成長する力を育むプロセスである。すべての学生がそれぞれ独自の価値と強みを持っているという前提に立ち、それらを最大限に引き出すことが私の使命と考えている。

【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

3.1. アクティブラーニング

学生が主体的に参加する授業を心がけている。ゼミナールでは、発表、ディスカッション、グループワークを通じて、批判的思考、課題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などを養う。講義では、一方通行にならないよう、学生とのコミュニケーションを重視している。その際、正解のない質問にするなど、学生に恥をかかせないように注意している。

3.2. フィードバック

定期的なフィードバックを提供し、学生が自己評価を行う機会を設けている。定期的に小テストを課し、次回講義の冒頭で解説と講評を実施している。ゼミナールでは、発表やディスカッションについて講評している。

3.3. 評価

複数の評価方法を用いて、学生の理解度と成長を測定している。講義では、小テストと期末レポートにより総合的に評価している。ゼミナールでは、発表やグループワークの成果のみならず、ディスカッションへの積極的な参加等によって総合的に評価している。

【成果】(その方法を行った結果、どうなったか、どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

学生との積極的なコミュニケーションにより、学生たちの授業への参加意欲が高まり、自主的な学習活動が活発になった。授業を通して、発表形式や資料の工夫、活発なディスカッションが見られるように変化しており、学生たちの成長を感じている。

【目標】(今後どうするか)

5.1. 継続的なアップデート

最新の研究成果や理論と実践について学び続け、講義内容と教育スキルを常にアップデートする。

5.2. ゼミナールでの縦の繋がり

ゼミナールの各学年のコミュニケーションを強化し、学生同士の相互交流を促し、先輩から後輩へノウハウが受け継がれる環境を構築する。